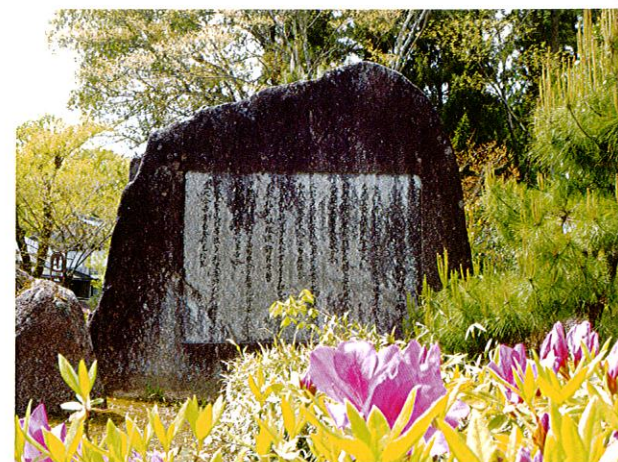


苑内には、比翼の丘のほかにも、二人の仲睦まじい様を表した「対」があります。

下段の池のほとりの万葉の相聞歌碑



下段の池の両端には、万葉相聞歌碑が一对見つめあうように建立されており、中臣宅守と狭野弟上娘子が交わした代表的な相聞歌各六首が、古写本西本願寺本の書体で刻まれています。

狭野弟上娘子

あしひきの 山路越えむと する君を
心に持ちて 安けくもなし

我がやどの 松の葉見つつ 我待たむ
はや帰りませ 恋ひ死なぬとに

白たへの 我が下衣 失わず
持てれば我が背子 直に逢ふまでに

あおによし 奈良の大路は 行き良けど
この山道は 行き悪しかりけり

中臣宅守

恐みと 告らずありしを 手向に立ちて
妹が名告りつ

我妹子が 形見の衣 命継がまし
なかりせば 何者もてか

味真野の地名が 詠まれた歌
万葉館前のモニュメント
恋する二人の寄り添う影が、天を仰いでいます。
味真野に 宿れる君が 帰る来む
時の迎へを 何時とか待たむ
狭野弟上娘子
もう一つの味真野の 地名が詠まれた歌
味真野にあぢさい咲ける 夕月夜 露の宿りは 秋ならずとも
藤原家隆 (夫木和歌集、玉吟集)
家隆は、小倉百人一首の選者で藤原定家とともに新古今時代(鎌倉時代)の双壁と謳われた歌人。
古歌で優れた狭野弟上娘子の歌を本歌として詠まれており、和歌の作成技法の一つとして新古今時代に多く見られる。



二つの曲水の流れ

上段の池から、比翼の丘を包むように流れる曲水。



万葉の里味真野苑休憩所

飲食コーナーでは、庭園を眺めながら食事ができます。

【利用時間】 午前9時から午後5時
(入館は午後4時半まで)

【休園日】 毎週月曜日・祝日の翌日・12月28日から1月4日
【問合せ先】 万葉庵 ☎0778-27-7799

万葉館



万葉のロマンと恋の歌をテーマにした資料館です。
万葉集を代表する歌人の秀歌を、映像と音声で紹介しています。
万葉集と越前とのつながりを学ぶこともできます。



【開館時間】 午前9時から午後5時
(入館は午後4時半まで)
【休園日】 月曜日(祝日の場合は開館)/祝日の翌日/12月28日から1月4日
【入園料】 無料
【問合せ先】 万葉館 ☎0778-27-2204
〒915-0031 越前市余川町55-1



あなたを想う 恋のうたコンクール

宅守と娘子の歌物語にちなんだ「あなたを想う恋のうたコンクール」に、毎年国内外から二万首を超える恋の歌が寄せられており、その受賞作品を楽しむことができます。
古も今も変わらぬ甘酸っぱい恋の歌に浸ってください。

大伴家持と 大伴池主の贈答歌



万葉集の代表的な歌人大伴家持は、越前の国司として赴任した大伴池主と親愛な交友を結び、互いに歌を贈り合いました。

叔羅川 瀬を尋ねつつ 我が背子は

大伴家持

鵜川立たさね 心なぐさに

(叔羅川 越前市の中央を流れる日野川のこと)

恋のパワースポットと継体大王花がたみ像



「かように候者は。越前の国味真野と申す所にござ候。大迹部の皇子に仕え申す者にて候…」ではじまる世阿弥の謡曲「花筐」の一説。
ここ味真野が、大迹王(後の継体天皇)と照日の前の愛の物語の聖地なのです。
この物語にちなんで、1500年の時を超え、味真野苑の西側に、継体大王(けいたいだいおう)と照日の前(てるひのまえ)の像が佇む公園「恋のパワースポット」がつくられています。

謡曲「花筐」のあらすじ

味真野の地で大迹部の皇子(後の継体天皇)と照日の前は味真野の地で仲むつまじく暮らしていましたが、時の第25代武烈天皇が崩御され、男大迹王が天皇として都に迎えられることとなり、王は形見として手紙と花筐(はなかご)を照日の前に届け、都に上ったのです。

照日の前は王が恋しいあまり狂女を装って、都に向かい天皇の行列の前で花筐を持って美しく舞ったのです。天皇は照日の前との再会を喜び、再び都で仲良く幸せに暮らしたという。

重要文化財旧谷口家住宅

19世紀前半に建てられた豪農の住宅で、角屋が発達した好例として、昭和52年に国の重要文化財の指定を受けています。



万葉を彩る

【早春】 ウメ・ミズバシヨウ・カタクリ

【春】 サクラ・ハナモモ・ヤマブキ・フジ・ボタン・ツツジ

【初夏】 カキツボクサ・アヤメ・ハナシヨウ

【夏】 アジサイ・スイレン・ムクゲ・アザミ

【初秋】 ヒガンバナ・オミナエシ

【秋】 ハギ・キク・モミジ・ナナカマド

【初冬】 サザンカ・ツバキ茶の花